

Chicago Regimentals がコレクターの皆様にお届けする
無可動式銃とミリタリアのニューズレターです。

Belgium Pin Fire Side-by-side Shotgun with Extra Rifle Barrel



ベルギーのトップレベルの銃工職人が持つ技術の全てを凝縮して形に上げた美しいアラバスク模様は、日本刀の刃や鍔面などの金工金具と同じ「金属のキャンパス」に描かれた芸術」ともいえます。

フォア・グリップの下のリバーをスライディングさせると実銃と同じように中折れにすることができ、そして、フォア・グリップを外せば銃身を取り外すことができ、この水差し入りのフルセットの中にはショットガン用とライフル用の2本の銃身が付属しており簡単に取り替えることができます。すなわち、一つの機関部で銃身を取り替える事にしショットガンにもライフルにもなる便利な品です。



Leopard (レオパルド) 王家の紋章。

「月刊GUN」誌の1995年5月号「沈黙の美術・無可動式銃の世界」の中でもカラー写真入り(100ページ)で紹介されています。

ベルギー製カニ目打ち式 水平二連ショットガン/ライフル

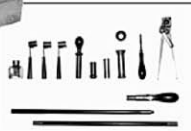
ベルギーのBruxelle(ブルッセル)にあるAd.Jansen社で1850年頃に作られた、ベルギー王家伝来の由緒ある品です。グリップ上部にレオパルド家の紋章を戴き、銃全体を飾る金具には神秘的なアラバスク模様で丹念に刻まれた触れ難い高貴な作りになっています。銃身は入念に鍛え上げられたダマスカス仕上げのショットガン用とライフル用の2本のカニ目打ち式の銃身がセットになっています。カニ目打ち式(Pin Fire=ピン・ファイア)とは薬莖の後面側面にピンのような突起があり、この突起をハンマー(撃鉄)で叩くことによって発火させる薬莖が発明された初期の頃の撃発方法です。弊社の1,000丁の在庫の中でもクオリティーの高さは際立っており、弊社でも再入荷不可能な逸品です。

¥1,300,000

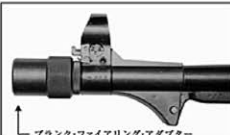
弊社では、この他にもオリジナルの水差しに入った各種ショットガンやライフルを取り揃えています。このベルギー王室伝来の品を除き30万円台~50万円台までと、その希少価値から考えると非常にお手頃な価格帯になっています。



美しいグリーンの内張りが見え、オリジナルの水差しケース(縦82cm×横32cm×高75cm)には当時のメーカーラベルが残っています。また、モールド、パウダーショット・スクープ(3種類)、専用ライバー、クリーニング、グロッド、装弾筒、ガラス製セイムピンなどのアクセサリーも当時のままで保存されておりコレクターには嬉しいオリジナル度の高い逸品です。



Maschinenpistole 40



ブランク・ファイアリング・アダプター

MP38&40専用のブランク・ファイアリング・アダプター。銃口のマスル・キャップを取り外して代わりにこのアダプターを装着し空砲を発射します。MP40用のアダプターは以外と少なく、このアダプターはMP40コルセリにとって貴重な存在です。その他の別売アダプターとしてMP40用マガジン（通入り¥6,000-）、MP38用マガジン（通入り¥10,000-）、MP41用マガジン（¥10,000-）、マガジンローラー（¥15,000-）、マガジンノーズ（取得難あり）等でお問い合わせ下さい。）があります。



MP40 I リブ付きマガジン・ハウジング



MP40 (初期型) リブ無しマガジン・ハウジング

スタンダード・モデルのMP40 I (左上)とMP40初期型(左下)と呼ばれるMP38の面影が残る最初のMP40。MP40 (初期型)はフロント・サイトの前にあるマスル・カバー用の突起とマスル・キャップの形状がMP38と同じですが、マガジン・ハウジングの丸抜き穴がなくなり“フラット”なデザインになっています。レシーバー部分には、MP40と同じプレス製でMP38を量産向けに改良した初期のモデルです。



ストックを伸ばした状態のMP40 I。ストックは実銃と同じように折り込むことができます。

バリエーションの一つとして通常の六角形のバレル・ナットが円柱形で二面だけのカットした省略型のMP40もあります。

スタンダードな六角バレルナット



MP40 短機関銃

通称“シュマイザー”と呼ばれる有名ドイツ軍の制式短機関銃で1938年に採用されたMP38とその量産タイプのMP40の2タイプに大きく分けられます。さらにMP38にコッキング・ハンドル・セーフティを追加したMP38/40、MP38の面影が残るMP40の初期型、最も多く作られたMP40 I、省略型モデル、木製銃床のMP41など、多数のバリエーションが存在します。国内ではモデルガン化されたMP40 Iだけが馴染み深くその形に至るまでの過渡期の品はあまり知られていません。またメーカーによるバリエーションも豊富ですので、是非モデルガンでは味わえない“知られざるMP40”の世界を堪能して下さい。

¥100,000~

スタンダード・モデルのMP40 I。通常MP40と呼ばれる品は海外ではMP40 Iとして区別されており、MP40 Iになってから初めてマガジン・ハウジングにリブが入りお馴染みのスタイルになりました。MP40 Iでもトリガー・ガード部分にリブのある品と無い品の2タイプがあります。



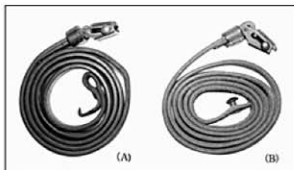
MP41短機関銃。フォルディング・ストックの代りに木製ストックを取り付けたMP40のバリエーション。ストック以外にもバレル・ナットの形状やレスティング・バーが付いていない点など、多くの相違点があります。欧米のマーケットでも数が少なくない銃の一つです。予約受付中。



フィールドストリップングをしたMP40 I

実銃と同じく、ローア・レシーバーの脱着ナットを引き、によって二つに分解できます。

レシーバーをツイストすること



別売のオリジナルMP40スリング (A・¥9,000-)と、イスラエル製の戦後に作られたMP40スリング (B・¥6,000-)。

Thompson M1928 & M1928 A1 Sub Machinegun



非常に珍しいオリジナルのオートマティクス社発行 M1928マニュアル。限定品 (A: ¥8,000)



Thompson Submachine Guns リプリント 合同マニュアル。5種類の軍とメーカーの オリジナルのトンプソン短機関銃(M1928, M1928A1, M1919) のマニュアルを一冊にまとめた小冊子。22×14cm, 202頁 (同版196枚) 英語。 (B: ¥1,800)



Thompson 'The American Legend' 試作品から全てのモデル(M1919, M1921, M1928, M1928A1, M1919A1) を含む各種アサセリ、弾薬、マニュアルまでをカバーしたトンプソン短機関銃の最高の資料。23×28cm, 216頁 (写真約400枚) 英語。 (C: ¥11,200)



フィールド・ストリップングをしたM1928A1と別売アサセリ

脱着ボタンを押すことにより、バットストックとローアー・レシーバーを取り外す事ができます。別売でスプリング\$3,000、オイル\$4,000、.30連(左)と20連(右)ボックス・マガジン\$5,000~¥8,000(一本は銃に付属しています)。米国オートマティクス社複製版パーティカル・マガジン\$10,000、英国複製版パーティカル・マガジン\$10,000を取り扱っています。



アジャスタブル・リアサイトの代わりにプレス加工のL型ピーニング・パイロットがついた珍しい戦時生産型のM1928A1のパリエーションも少数入荷しています。

英国複製版パーティカル・マガジンを取り付けたM1928A1。このパーティカル・マガジンは、英国で販売されているデコイガン用に作られた品ですが、全体的に見るとおなじみのトンプソンに非常に近い形状をしています。現在米国で販売されているオートマティクス社製のトンプソン・セミオート・コマンド・モデル用のパーティカル・マガジンは角の丸みが少なく、若干平面的ですが、オリジナルのオートマティクス社製という点で英国製より勝っています。

トンプソン M1928 & M1928A1 短機関銃

トンプソンM1928A1は基本的にM1928と全く同じ品で、A1の刻印がM1928の後に追加されているだけです。弊社ではM1928とM1928A1の両モデルを在庫しています。M1928はトンプソン短機関銃が初めて量産されたM1921の発展型で米国海兵隊によって制式採用されニカラグワ出兵で使用し、その優秀さが認められました。また米国沿岸警備隊でも使用され、海兵隊が使用したモデルとともにストレート・フォア・グリップを標準装備しており、通称「Navy Model」と呼ばれ、パーティカル・グリップが付いたモデルと区別されています。コンバットのサンダース軍曹が使用したのもこの「Navy Model」です。M1928A1になって始めて米陸軍に納入されましたが、多くはイギリス、フランスに輸出され、特に英軍では「トミーガン」の愛称で多数が第二次大戦で使用されました。今回入荷したM1928&M1928A1の両モデルにはカッコンベンセーターが標準装備されています。



レシーバーに打たれたオートマティクス社の刻印とバットの刻印。



別売の未使用オートマティクス社製の複製版ドラムマガジン\$40,000(右)。米国版規格により、大容量の弾倉の製造が禁止されたため、外見は同じでも発弾数は10発だけになっています。オリジナル軍用型(Type L) \$30連ドラムマガジン\$60,000(左)

¥170,000~

Chicago Regimentals がコレクターの皆様にお届けする
無可動式銃とミリタリアのニューズレターです。

Belgium Pin Fire Side-by-side Shotgun with Extra Rifle Barrel



ベルギーのトップレベルの銃工職人が持つ技術の全てを凝縮して彫り上げた美しいアラバスク模様は、日本の野や緑道などの金工品と同じ「金属のキャンバス」に描かれた芸術ともいえます。

フォア・グリップの下側のレバーをスイングさせると実銃と同じように中折れにすることができ、そして、フォア・グリップを外せば銃身を取り外すことができ、この木箱入りのフルセットの中にはショットガン用とライフル用の2本の銃身が付属しており簡単に切り替えることができます。すなわち、一つの機関部で銃身を取り替える事にしショットガンにもライフルにもなる便利な品です。



Leopard (レオパルド) 王家の紋章。

「月刊GUN」誌の1995年5月号「沈黙の美学・無可動式銃の世界」の中でもカラー写真入り(109ページ)で紹介されています。

ベルギー製カニ目打ち式 水平二連ショットガン/ライフル

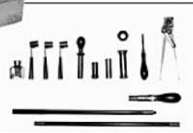
ベルギーのBruxelle(ブルッセル)にあるAd.Jansen社で1850年頃に作られた、ベルギー王家伝来の由緒ある品です。グリップ上部にレオパルド家の紋章を戴き、銃全体を飾る金具には神秘的なアラバスク模様で丹念に刻まれた触れ難い高貴な作りになっています。銃身は入念に鍛え上げられたダマスカス仕上げのショットガン用とライフル用の2本のカニ目打ち式の銃身がセットになっています。カニ目打ち式(Pin Fire=ピン・ファイア)とは薬莖の後部側面にピンのような突起があり、この突起をハンマー(撃鉄)で叩くことによって発火させる薬莖が発明された初期の頃の撃発方法です。弊社の1,000丁の在庫の中でもクオリティーの高さは際立っており、弊社でも再入荷不可能な逸品です。

¥1,300,000

弊社では、この他にもオリジナルの木箱に入った各種ショットガンやライフルを取り揃えています。このベルギー王家伝来の品を除き30万円台~50万円台までと、その希少価値から考えると非常にお手頃な価格帯になっています。



美しいグリーンの内張りが見えたオリジナルの木製ケース(縦32cm×横32cm×高7.5cm)には当時のメーカーカールベルが残っています。また、モールドグリップ、パウダーショット・スクープ(3種類)、専用ライバークリーニング・ロッド、英語版、ガラス製セイフピンなどのアクセサリーも当時のままで保存されておりコレクターには嬉しいオリジナル度の高い逸品です。



Hungarian AMD 65 SLR



別売の東ドイツ製AK用ガス・ランチャー。AMD 65のサブプレッサーを取り外し、代わりにこのランチャーを装着できます。ランチャー本体は再使用できないように、溶接加工が施されています。¥35,000（専用サイト付き）



上記のガス・ランチャー専用サイト。2個のネジで簡単に脱着ができます。



フィールド・ストリップングをしたAMD 65

工具を使わずに1分程度でこのようにフィールド・ストリップングが可能です。



ワイヤー・タイプのフォールディング・ストックを折り倒したAMD65。この状態でもセレクターの操作が容易なのもAMD65の長所です。

別売AK用プラスチック・オイル（左：¥1,000）は付属のマガジン・ハウチにビッタリと収まります。付属のAMD 65専用30連マガジン（中）軍用のAK用としては珍しいスモール・キャパシティ（小容量）です。別売AK用30連金属マガジン（右：¥3,500）もAMD65に使用可能です。このマガジンは、基本的に旧共産圏の全AK/AKM共通です。

ハンガリアン AMD 65 自動小銃

AMD65はハンガリー軍が制式採用したAKM（AK47のプレス加工の量産型）の発展型で、ワイヤー・タイプのフォールディング・ストックが標準装備されている点とAMD63と同じ独特のプレス加工のハンドガードにグリップが付いた点が特徴です。また、特殊部隊用として開発されたAMD65の全長はAKMより短く、コンパクトになっている反面、銃身が短くなったため、銃口の跳ね上がりが高く大型のサブレッサーが取り付けられている点もAKMと異なります。特殊部隊用の他に将校用としても支給されました。

アクセサリ付き価格 **¥140,000**



別売の東ドイツAK用クリーニング・キット ¥3,500 WW II ドイツ軍用のクリーニング・キットと同じ形式の標準型で他の共産圏製とは異なります。

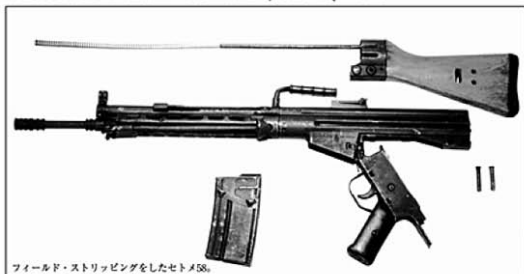
AMD 65専用のクリーニング・キットの入手が困難ですので代用に最適です。



AMD 65には、革製スリング、黒色の合成皮革製のマガジン・パouch、予備マガジンが本が付属しています。これらの付属品は単品では市場に出回っていませんので、このようにセットになった機会に、ぜひコレクションに加えて下さい。

Cetme Modelo 58 SLR

セトメ58のマズル部の拡大図。現用自動小銃では珍しくないアレネードランチャー兼用のサブレッサをセトメでは最早取り入れていた。



フィールド・ストリップングをしたセトメ58。

バットストックのピン2本（ワイヤースプリング内蔵）を押し出すだけで、バットストックが簡単に取り外せます。ローアレーンバーとアンダーレーンバーは、ストックを外す事によって2つに分断します。このようなフィールド・ストリップングは工具を使わずに1分程度でおこなえます。



HK Gew.3 A4

セトメ58

HK Gew.3 A4とセトメ58の比較。HK社の製品がセトメの発展型である事はその外見を見ればただで十分表付けられます。

セトメ モデル58 自動小銃

ドイツのG3自動小銃の原型になった事でも有名なセトメ モデルCのスペイン軍用モデルです。Cetme Centro de Estudios Tecnicos de Materiales Especiales=中央特殊資材研究所はスペイン政府の武器研究機関で、第二次大戦後はLudwig Vorgrimmlerを始め多くのドイツ人の銃器技術者が席を置き、そこで大戦中にモーゼル社で開発したStg45 (M) と同じローラー・ロック閉鎖機構をもとにセトメ自動小銃の試作品が完成されました。試作段階のセトメ自動小銃は薬莢の短いセトメ弾を使用していましたが、このモデル58はNATO 7.62mm弾と同寸の7.62mm×51のセトメ弾を使用しており、1958年にスペイン陸軍に制式採用されています。セトメ自動小銃は欧米の市場でもほとんど見ることの出来ない希少品で、最近になって少数が放出されたものを弊社が全て確保しました。将来的に入手が非常に難しい品です。MP44とは違う意味で近代アサルトライフルの元祖となる貴重な品をコレクションの一つとして加えて下さい。

¥130,000



セトメ58

MP44



セトメ58のマーキングの拡大図
Santa Barbara造兵廠の創印が鮮明に打たれています。

MP44とセトメ58の比較
セトメ自動小銃は戦後のアサルトライフルの元祖と言われますが、その原型は第二次大戦で初めて登場した“Sturmgewehr (突撃銃)”です。ドイツのSturmgewehrとして最も量産されたMP44とは外見を始めた多くの共通点が見られます。

Maschinengewehr 34



MG13/MG34用オイルセット。専用のボックスにオイル缶2個とガソリン缶2個が入っています。
(¥19,000、ドイツ語表示)
(¥13,000、ポルトガル語表示)



別売の弾薬箱に2個セットで収まるMG34/MG42用オイル缶。(¥19,000)



MG34用オイル缶。
(¥28,000) 限定品



別売のタパコ缶入りクリーニングキット(¥30,000)。お馴染みのKar58kのクリーニングキットを二回りほど大きくしたサイズです。



別売の点検キット(¥16,000)は、オイル、レンチ、ワズルキャップ、予備パーツ、スターター、最良交換用布パッドがアモボックスに収められたMG34予備パーツキットです。(ポルトと撃撃等の発射機に関する部品は入っていません。)

ワフエティ34型三脚は銃本体よりも入りが困難なMG34専用の物で、セムボート、フルボートの切り替えが三脚本体のスイッチにより行えます。また、発射時の衝撃を吸収する油圧ダンパーや光学照準器用のマウントを装備し、最良の交換機を取り付けずに行える事など他の三脚にはない機能を備えたクオリティーの高い品です。(別売¥390,000)



別売の光学照準器34型(¥180,000)。ワフエティに取り付けられるMG34用スコープ。ワフエティと同様現在残りの少ないアイテムです。完売品。



別売の対空サイト(¥21,000)。このサイトを装着するだけでもMG34のイメージが大幅にアップします。



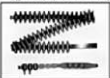
別売のMG34用ベイクライト製バットストック(¥21,000)は、本製バットストックタイプのMG34にも取り付け可能で、コルクパッドの幅を広くする一品です。全金属製の付いた初期ベイクライト製バットストック(¥28,000)も入荷中です。



41型(Patronkasten41)弾薬箱セット(¥10,000)には、スターターパッドとアモベルト5本が付属しています。



別売のアモベルトで50発の装弾が可能でドラムマガジン(1弾¥15,000)と連発用コンテナフレーム(¥5,000)。



別売のアモベルト(¥2,000)とスターターパッド(¥1,500)。

MG34 機関銃

MG34はドイツ初の万能機関銃として開発された品で二脚使用で軽機関銃、三脚に載せて重機関銃もしくは対空機関銃として、更に車載機関銃としても使用されました。これらのアクセサリを替えることによって、雰囲気を変える楽しみがあることもMG34の大きな魅力です。また流石とも言えるドイツ独特のクオリティーの高いデザインと機能は特筆すべきものがあり、まさに1丁で3倍楽しめる弊社のベストセラーです。また、少数ですが1930年代に製造された初期型のドイツ国内生産型もあります。

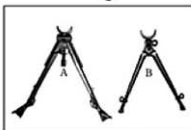
¥150,000~



銃卓の銃座用に開発された36号(Patronkasten36)150連弾薬箱。限定品(¥35,000)



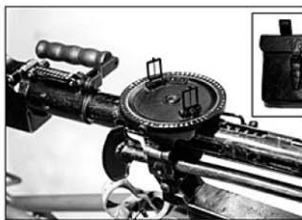
別売のMG34用工具キット。MG34の整備に必要な各種工具のセット。アモボックスに収納できます。(¥95,000) モーゼル社の刻印が大きく入っています。



別売のオリジナルバイボッド (A: ¥28,000) はアムトマーク入りで、照準器の調整が可能です。戦後のチェコ製のバイボッド (B: ¥3,000) もあります。

二脚を使った軽機関銃仕様のMG34。¥150,000のベースモデルには、この写真と同じ銃と二脚がセットされています。

Madsen M/940 Machinegun



ダイヤル・サイトを装着したマドセン機関銃。ダイヤル・サイトは銃本体に付けるのではなく、三脚の一部(後部)を固定するクラップに装着します。



クリノメーター(中)、ダイヤル・サイト、(右)の2点が基準装バウチに取納されています。

フィールド・ストリッピングをした機関銃部。



このトップ・カバーを開くとローアー・レシーバーとアンダーレシーバーが分離します。

マドセン M/940 機関銃

マドセン機関銃は19世紀末にデンマーク陸軍のマドセン大尉によって開発された反動利用式の機関銃でデンマーク陸軍によって各種モデルが採用されました。また、この機関銃は商業的にも成功し、1900年の始めから約半世紀間にわたって世界中に輸出されました。口径も輸出先の制式口径にあわせ各種のモデルが生産され、今回入荷の品はポルトガルの第二次大戦前の制式口径である7.92mm仕様になっています。第二次大戦中はデンマークを占領したドイツ軍に多数捕獲され、特にこの7.92mm口径の銃はドイツ軍の制式口径と同じでSSや警察部隊によって使用されました。



トップ・カバーを開けた状態。

トップ・カバー
開閉レバー

トップ・カバーは機関銃後部のレバーを回すだけで簡単に開閉できます。また、このトップ・カバー開閉レバーを抜くことにより、ローアー・レシーバーとアンダー・レシーバーが分離します。この方法は現代のエアソフトライフルでも用いられており、戦場での整備には便利に構造でした。

アクセサリ付き
フルセット価格
¥150,000

今回の入荷品には三脚、三脚(革スリッパ付き)、ダイヤル・サイトとクリノメーター(革装バウチ付き)、予備マガジン3本と革装マガジンバウチが付いたお揃いのフルセットです。(このページの写真の付属品は全てセットの中に入っています。)



三脚に装着し、重機仕様にしたマドセン機関銃。三脚はブレングンと似た三角形のタイズですが、反動を和らげる、コロニススプリングやワイヤーを使ったリモード式の引き金がある点が見えます。

付属の予備マガジンと革装マガジン・バウチ。

マドセンのマガジンは中のスプリングが取り外しにしやすいので、前後で簡単に処理されています。革装のマガジン・バウチは厚手の上質革を使った大径の品でストラップが付いて前からさげることができます。

二脚を使用した軽機仕様のマドセン機関銃。



入荷のモデルはデンマークのダンス・インダストリー・システム(デンマーク工業システム)で製造され、第二次大戦前にポルトガル軍に納入されたM/940と呼ばれる品です。レシーバー左側面にはポルトガルの紋章とMadsenのモデル名が刻まれています。

Breda M1937 Heavy Machinegun



トップカバーを開けたブレダ重機関銃



対空補助支柱
対空アササイト
対空フロントサイト
対空補助二脚
対空シールドダーストック



セットの中に入られるガンナズ・キット



対空射撃状態のクローズアップ



付属の中隊用工具セット。
機関銃中隊に設置セットつづ支給
された工具セットで、野戦整備
で必要な工具と予備パーツが収
納されています。
※但し、今回付属する品には主
要工具と発射機能に関する予備
パーツは含まれておりません。

ブレダ M1937 重機関銃

1937年にイタリア軍に制式採用された空冷式の重機関銃で、日本の九二式重機関銃と同じ保弾板と呼ばれる給弾装置を使用します。特筆すべき点は発射済みの空薬莖は銃の外へ排莖されずに、再び保弾板に戻され、20発全部が射尽くされてから保弾板ごと排莖されることです。一見信頼性に欠けるようなこの機構には、特に問題はなく、反対にイタリアの機関銃の中で最も信頼のおける銃として評価されています。

アクセサリ付きフルセット価格 **¥250,000**



地上用仕様のブレダ重機関銃。

今回入荷の品には、対空用フルアクセサリセット、予備保弾板、クリノ・メーター、中隊用工具セット、銃彈箱、がセットされています。(このページの写真のアクセサリは全て含まれています。)

クリノ・メーターと革製パウチ。

保弾板約10枚と木製収納箱。

保弾板と装弾器。

Vickers Mk-I Heavy Machinegun



光学サイトは455,000円とグリップ内の
オウターのクローズアップ。マキシ
ム重機関銃と同じ方向のグリップ
内にはブラッシュが付いたオウターが内
蔵されています。

※光学サイトは1939年
に採用されたもので、それ以前のモデル
には光学サイトを銃に
取り付ける金具（ブラ
ケット）が付属して
いません。将来的に光学
サイトを取り付けられ
る方は、金具付きである
事をご確認ください。



真鍮製のフィード・ブロック
フロント・カバーを開けた状態のピカースの
機関部。真鍮製のフィード・ブロックは取り外
すことができます。



バレルジャケット・カバーは7,000円とディフレク
ション・フロント・サイトのクローズアップ。

バレル・ジャケットにリブの入った初期モデル。付
属品を付けていない2210,000の最手前の状態。
(三脚と水冷箱は価格に含まれています。)



ディフレクション・フロント・サ
イト（遠距離射撃用のフロント・
サイト）¥8,000には、キャンバ
ス製のバウチが付属してい
ます。

バウリック・フッシュ・
エルミーター¥6,000。
球形をした一様のフッシュ
シューハイダーです。

バレル・ジャケットに
リブの無い後期型モデル。
別売の付属品をフル装備
した状態。

ビッカースMK-I 重機関銃

ビッカースMK-I 重機関銃は1912年英国陸軍
に採用され、GPMG (L7A1) が新しく採用され
るまで英国連邦各国で半世紀近
くの間使用された名機関銃です。
このビッカース重機関銃はマキ
シムをベースにした水冷式の重
機関銃で日露戦争で機関銃が
使用された事によってその重要性
を認知し開発されたと言われ
ています。

三脚と水冷缶付き
¥210,000



別売のクリノメーター ¥28,000。
本重製のバウチにはブラッ
シの計算尺が二枚含ま
れています。



303 ダミーカート50発付き
のアモ・ベルト ¥45,000。
(返品入荷予定、予約受付中)

No1 MK-I 250発用 弾薬箱。
(OD色) ¥6,000



No10 250発用 弾薬箱。
(装具専用、白・冬手塗り色)
¥6,000



250発用アモ・ベルト ¥3,000



"The Grand Old Lady of No Man's Land" ビッカース
重機関銃の書物としては最高レベルの資料です。
英語、29×22cm、592頁(7)頁686枚¥10,600



水冷缶用ホース
バレル・ジャケット
取付け金具付き
¥6,000

水冷缶（銃に付属していますが、
程度はあまり良くありません。）
別売水冷缶 ¥8,000



"Box, Spare Parts and Tools, 303inch Vickers Gun Mk I" 機関銃中
隊用工具と予備部品セット。撃針と全発機銃に必要関係の
ある部品は含まれていません。売品。¥90,000 予約受付中

Maxim M1910 Heavy Machinegun



真鍮製のフィード・プロック

トップカバーを開けた状態のマキシムの機関部。真鍮製のフィード・プロックは取り外しすることもできます。



マキシム重機関銃のフロント・ビュー。正面から見たマキシム重機関銃は重機関銃の王者と呼ぶに相応しい、堂々とした風格を持っています。

リア・サイトを多少発射機能に直接関係のない部品は実証通り可動します。

250発用のアモ・ベルトと金属製のアモ・ボックスがセットの中に含まれています。また、このアモ・ボックスの別売¥13,000もごさいます。



開発者の名前を付けた Sokolov (スコロフ) 式マウント。

マキシムM1910重機関銃用スコロフ式二輪付台車。ロシア軍は重機関銃が一人で移動が簡単なために、この様な二輪の付いた台車を採用し、第二次世界大戦後のSG系重機関銃にまで受け継がれました。台車は上図の様に折畳み式で悪路では兵士が一人で背負って移動する事も可能でした。第二次世界大戦中、ロシア兵が町の中をこの台車にマキシム重機関銃を載せ、背負って移動している有名な写真がありますが、真像を再現品としか考えていないロシア軍ならではのアイデアです。

マキシム M1910 重機関銃

マキシム M1910 重機関銃はロシア初の国産重機関銃であるマキシム M1905を軽量化したモデルでロシア赤軍の象徴とも言える有名な重機関銃です。M1905との大きな相違点は真鍮製のバレル・ジャケットが一般的なスチールに代った事とスコロフ式の新型鉄架を採用した点で、基本的には同じ構造をしており給弾機構に若干の改良が見られます。今回入荷の品は水冷用のバレル・ジャケットに補強用のリブが付いたM1910の第二次大戦型で防御用の鉄製盾は付属しないモデルです。また、入荷品の多くには1941~1944年の製造年とロシアの造兵廠の刻印が入っています。冬季対フィンランド戦 (The Winter War) 中に約1,000丁がフィンランド軍によって捕獲され、更に、1941年~42年



左右のグリップ内部はスライヤーになっており、ねじ込み式の上面の裏にはブラシが付属しています。重機関銃ならではのアゲアゲですが、ロシア軍ではDP系やPK系の軽機関銃バーストックの中にも同じようなスライヤーを内蔵しています。

の戦いで約2,000丁が捕獲され、1944年には約4,000丁のマキシムM1910がフィンランド軍によって使用されました。今回入荷の品の多くはこの時期にフィンランド軍によって捕獲され、対独戦で使用した品で、戦後フィンランド軍の兵器廠で保管されて近年コレクター市場に放出されました。このような大型の重機関銃は輸送コストの値上がり等の理由で今後入荷が難しくなる品です。この機会にコレクションに加えられることをお薦めします。

アモ・ベルト、アモ・ボックス付セット価格

¥250,000

台車に取り付けられている光学サイト用のケース (光学サイトは付属していません。)

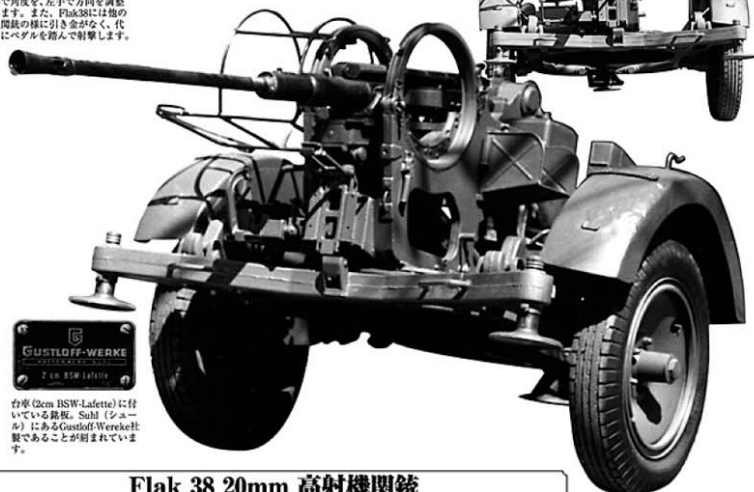
20mm Flak 38



銃本体と機関部のクローズ・アップ。銃の右側面には空襲警戒用のバスケットが付属しています。

Flak38には折り込みのイスが付いており、射手がここに座り、右手で角座を、左手で方向を調整します。また、Flak38には他の機関銃の様に引き金がなく、代りにベダルを踏んで射撃します。

付属の予備銃身2本用ケース(クリーニング・ロッド、予備リコイル・スプリング、予備フラスコ・ハイダー)が付いています。予備銃身は含まれていません。



台車 (Zem BSW-Lafette) についている銘板。Suhl (シュール) にあるGustloff-Werke社製であることが証明されています。

Flak 38 20mm 高射機関銃

Flak 38 は1938年に採用された対空用の機関銃で、20mmという大口径の威力を活かして対地上、対戦車用としても活躍し、空軍の高射砲兵部隊を始めドイツ全軍によって終戦まで使用されました。今回入荷した品の銃本体(レシーバー)は1943年にモーゼル社で製造されたシリアル・ナンバーが“P11”の品で、銃身にも同じ1943年の刻印が入っています。二輪付きの台車はダーク・グレーに再塗装されていますが、パーツは全て(タイヤは戦後)オリジナルでその希少価値は世界中に現存しているFlak 38の数の少なさからも想像ができます。弊社でも二度と入荷の出来ないミュージアム・クオリティーの品です。

¥2,800,000

輸送料別途



電子射撃測定器 (Flakvisier 38a) は残念ながら付属していませんが、外見は1212型を保持しています。

“German 20mm Flak in World War II”
20mm Flak 38 唯一の資料。当時の写真
を主体に英語でわかりやすい解説が付
いています。

台車に乗ったFlak 38は平坦な場所であれば一人一人の力で移動が可能です。30×21cm、48頁 (写真100枚) ¥1,400
台車から三脚ごと取り外し三脚による射撃ポジションにもできます。

